

社団法人 日本経営士会 千葉県会 会報

EMC 千葉

Ever
Management
Consultant
Chiba

発行 (社)日本経営士会 千葉県会 <http://keieishi-chiba.org/>

県会長 河井成夫 〒270-0032 松戸市新松戸北 2-11-1

新松戸ファミリーハイツ 5-707 TEL/ FAX 047-346-4441

編集 事務局 副会長 若月英司 (会報担当) 鈴木伸一

平成18年11月30日発行

第74号

早いもので年の瀬の声を聞く頃になりました。終わり良ければ全て良し。来年は丁亥の年です。前回の丁亥の年、昭和22年は日本国憲法の施行の年であり、遡れば時代の節目にあたる大きな事件が多い年周りで。前政権の改革一辺倒から時代を巻き戻す事柄の多い昨今、私たちの回りも見直さなければいけないことが多いように感じます。

懇親会のご案内

懇親会開催のお知らせ

今年最後の懇親会です。寒さを吹き飛ばし今年一年を振り返り楽しく語り合しましょう。
みなさんの参加をお待ちしております。

日 時：平成18年12月16日(土) 18:00より

場 所：白木屋 船橋市南口駅前店 047-423-0988

船橋市本町4-41-25 ステージ船橋6階

会 費：4,000円



ここの6階

申込先：別途案内は送りしません。12月10日までに、若月英司 会員 Tel：043-247-5078 Fax：043-247-5082 まで、最終面の申込書でお申し込みください。多数のご参加をお待ちしております。

1 2 月 度 研 修 会 ご 案 内

日 時 平成 18 年 12 月 16 日(土) 13:00 ~ 18:00

場 所 船橋市中央公民館 第 2 集会室

テーマ 1 「日本版 SOX 法 (金融商品取引法) の対応について」 13:00 ~ 15:00

講 師 鈴木 伸一 会員

2006 年 6 月、国会で 1 つの法律が成立しました。来年にかけて多くの企業に激震を与える、その法律は「日本版 SOX 法」と呼ばれています。上場企業とその連結決算子会社の 5 万社は、わずか 1 年余りで財務に係る業務プロセスを見直し、内部統制の仕組みを構築し運用することを迫られているのです。

2009 年 (平成 21 年) 3 月期の本決算から上場企業およびその連結子会社を対象に適用される。3 月決算の多くの企業では 2008 年 4 月には、内部統制を確立する必要があります。残された期間はあとわずかしかありません。それらの企業では、これから来年にかけて、あの 2000 年問題に匹敵するぐらいの大騒ぎになることでしょう。

企業の活動はすべて、その成績書である決算書にとりまとめられます。つまるところ企業の業務プロセスは多かれ少なかれ財務と結びついています。そのすべての業務プロセスに対し、日本版 SOX 法の対応を迫られているのです。

日本版 SOX 法の要求事項を要約すると以下の 3 点になります。

- ・ディスクロージャー資料の正確性と透明性 (財務報告や決算報告でうそをつかない)
- ・説明責任と内部統制の実施 (うそをついていないことを保証する)
- ・監査人の独立 (監査人は不正行為に関与せず、正しい監査を行う)

具体的な内部統制の実施としては、以下の 3 点が重要になります。

- ・業務プロセスを見直し、リスクマネジメントの観点から、承認や監査など相互牽制の仕組みを構築する。
- ・財務諸表に関連する業務をシステム化し、適切な担当者が適切な処理を行っていることを記録し証明する。
- ・情報へのアクセスを制約し、データ、記録の不正な参照・改ざんを防止する。

業務と IT の両面で内部統制を実施するためには、それぞれ現状を把握し、より実効的な対策を検討する必要があります。

当然上場企業は、監査法人、コンサルタントに依頼し業務プロセスの見直しを始めています。しかし監査法人、大手コンサルタントは財務のプロではありますが、業務のプロではありません。その対象となる業務を知らないのではいたずらに時間がかかるだけです。子会社の多くは親会社とは規模も違い業態も違い、人材も不足して単純に親会社の業務プロセスを引き写すには無理があります。親会社としても、伝

票が発生するすべての部門が対象では、自社に抱える多くの支社、営業所の手当てだけでも手一杯になってしまいます。実際、上場企業は4000社、しかしその子会社は46000社もあるのです。

そこで求められるのが業務のプロであるコンサルタントです。

業務プロセスのリスクを分析し、業務プロセスを見直す力をもった業務に精通したコンサルタントが、実態調査、リスク分析を行った方がより実態に即した内部統制の仕組みをつくることができます。

業務さえ知っていれば、ほんのちょっとしたポイントを検討することで、内部統制の仕組みをくみ上げることができるのです。

具体的には・・・ 12月16日の月例研修会をお楽しみに。

テーマ2 「中小企業の現況と私の倒産体験（自己破産）を語る」 15:00～18:00

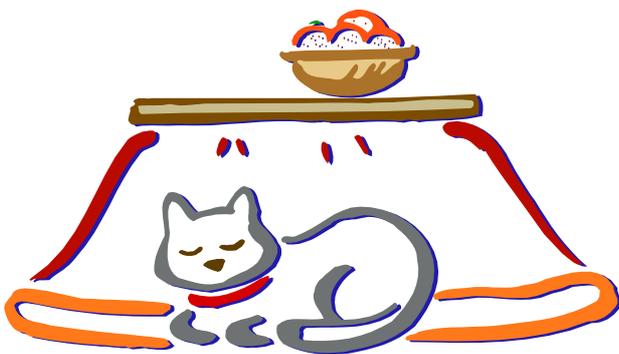
講師 弁護士法人フェニックス

顧問 佐藤 富夫 氏（神奈川県会長）

講師自らの中小企業経営経験をもとに、現在日本の中小企業の現実について、その最も厳しい自分の倒産体験を踏まえて、物作りの大切さや金融監督官庁や銀行の“自己責任のなさ”などについて講義をしていただきます。

現在の日本は再生が不可欠の社会に立ち向かっているが、決め手がなく他人事の対応が多すぎる。だからこそ、銀行トップ自らの意識改革が必要である。佐藤先生の意見は明確なメッセージを持って社会の歪みを告発します。

特筆すべきは、講師の過酷とも言える過去を背負いながらも明るく積極的に現実の社会に挑戦していることです。その姿には、講師の経験に裏打ちされた、過去にとらわれず未来を見据えた再生への哲学がうかがえます。



会議・研究会開催報告

第4回運営委員会

平成18年7月15日(土) 12:30～13:50

場 所 船橋市中央公民館

参加者 河井成夫、若月英司、佐藤昭保、鶴岡義明、藤江隆平、西村 豊、小島和久、小塚彦明、中嶋清介

1. 千葉県会運営委員会組織の確認
 - 1) 運営委員会組織の見直し
 - 2) 業務展開票について
2. 研修委員会及び、外部向け研修について
 - 1) 平成18年度第1回研修委員会は8月19日(土)の開催予定。
 - 2) MPP活動の外部向け展開について
 - 3) コンサルティング等外部活動の展開について
3. ECO検定について
4. その他

第5回運営委員会

平成18年9月16日(土) 13:00～15:00

場 所 船橋市中央公民館

参加者 河井成夫、鶴岡義明、佐藤昭保、西村 豊、林 久雄、小島和久、小塚彦明、若月英司

1. ホームページの更新について
研修・研究会
会員紹介の欄
2. 編集委員会の件
メンバーおよび開催日
会報の発送業務
3. 研修委員会報告
4. MPPの件
5. 来年度の総会について(会長提案)
6. 公的機関との外部提携受注の件
7. 県会会議室として秋葉学園教室の使用について
8. 運営組織について

第6回運営委員会

平成18年9月30日(土) 13:00～14:45

場 所 習志野市大久保公民館

参加者 河井成夫、若月英司、佐藤昭保、林 久雄、鈴木伸一、中嶋清介

1. 県会HPの掲示内容見直しと外部リンクについて
 - 1) 千葉県経営者協会HPとのリンクについて
 - 2) HPへの研修・研究会の実績と予定の公開期間について

2. 会報編集委員会の件
 - 1) 会報の発送業務について
 - 2) 11月発行の編集委員会の開催について
3. 今後の定時総会の開催内容の変革について
4. 研修計画について
 - 1) 11月の研修会予定
 - 2) MPP研修会予定
 - 3) 3月度研修会予定
5. その他
 - 1) 北関東フォーラム
 - 2) 運営組織について

第7回運営委員会

平成18年10月7日(土) 13:00～14:50

場 所 船橋市中央公民館

参加者 河井成夫、若月英司、鶴岡義明、佐藤昭保、林久雄、西村豊、藤江隆平、保科秀雄、
小島和久、小塚彦明、中嶋清介

1. 県会HPの掲載内容及び見直しについて
2. 研修・研究計画について
3. 外部向けMPPの展開について
4. 北関東フォーラムについて
5. その他

7月度月例研修会

平成18年7月15日(土) 14:00～16:30

場 所 船橋市中央公民館

テーマ 「福祉サービス第三者評価制度の概要について」

講 師 NPO法人人材パワーアップセンター理事長 岩橋秀高氏

参加者 石渡善紹、宇賀田登茂男、河井成夫、小塚彦明、小島和久、佐藤昭保、鶴岡義明、西村豊、
原弘行、藤江隆平、若月英司

1. 福祉サービス第三者評価の経緯：福祉サービス提供の仕組みの措置制度から契約制度への転換
2. 福祉サービス第三者評価の目的：

利用者が事業所の内容把握やサービスを選択する際の目安とするための情報提供

事業者が利用者のニーズを把握し、それに応え、サービスの質の向上への取り組みを促進すること

3. 福祉サービス第三者評価事業に関する指針
4. 第三者評価における国の動向と東京都の取り組み
 - ・福祉サービス第三者評価
 - ・介護サービス情報開示の標準化、
 - ・外部評価（痴呆性高齢者グループホーム）
5. 千葉県の福祉サービス評価・情報公表事業：4.の3つの制度の整合性を図り、
分かり易い評価・情報公表システムを目指している。

6. 千葉県福祉サービス第三者評価制度について：

対象サービス、調査方法、調査結果の公表（インターネット）

その他

9 月度月例研修会

平成 18 年 9 月 16 日(土) 15:00～17:00

場 所 船橋市中央公民館

テーマ 「第三者評価の千葉県会の取組について」

講 師：河井成夫 会員

参加者 石塚康生、榎田囃男、小塚彦明、小島和久、佐藤昭保、鶴岡義明、西村豊、林久雄、松浦尚二、
若月英司

介護サービス情報公表制度

1. 介護サービス情報の公表

全国 13 万箇所を超える介護サービス事業所の情報を、同じポイントで比較検討が出来るよう、サービス利用者、家族への利便性を提供する

2. 「介護サービス情報公表」のポイント

基本情報（施設の組織職員の体制、利用料金等）と調査情報（事業所報告に対する調査確認結果）

3. 「調査情報」の表示方法と内容

基本的には事業所が取り組み状況について公表しようとする事項

大項目、中項目、小項目あり

4. 対象となる介護サービス

- ・訪問介護 ・訪問入浴介護 ・訪問看護 ・通所看護 ・福祉用具貸与
- ・特定施設入居者生活介護 ・居宅介護支援 ・介護老人福祉施設 ・介護老人保健施設

5. 介護サービス調査の流れ

年間事業計画公表 調査票送付 報告 配布 訪問調査 調査結果報告 電子データへの加工
県への報告 公表

第三者評価について

1. 目的

- ・事業者自身が事業運営における問題点を把握し、サービスの質の向上につなげる事
- ・利用者への適切なサービス選択に資する為の情報提供
- ・中立な第三者機関が客観的な立場から評価することであらたな気づきを発見する

2. 手法・手順

- ・事業者評価（自己評価・評価員による訪問評価）と利用者調査（アンケート）がある
- ・法人格を持ち、福祉サービスを行っていない公正・中立な第三者機関（評価機関）が行う
- ・千葉県では保育所、児童養護施設、乳児院、障害福祉サービスが対象

3. 期待効果

新たな気づき、利用者意向把握、事業所 P R、経営視点で事業改善のヒントを掴む

4. 結果は W A M - N E T のホームページで公表される

10 月度月例研修会

平成 18 年 10 月 7 日(土) 15:00 ~ 16:30

場 所 船橋市中央公民館

テーマ 「会社法と内部統制への一考察」

講 師 栗田政彦氏 (神奈川県)

参加者 石塚康生、尾崎常利、河井成夫、小塚彦明、佐藤昭保、鶴岡義明、中嶋清介、西村 豊、林 久雄、
若月英司、小島和久

. コーポレートガバナンス(CG)論議と概念整理

- 1.CG とは何かの理解の整理
- 2.会社とは何かの再認識
- 3.企業価値とは、の捉え方
- 4.私の考える CG
- 5.CG 論の本質を踏まえた経営

CG の定義：経営の効率性と健全性を最大化するための経営者に対する統治とそのあり方、及び経営者による対応と責任を全うする仕組み。統治者とは株主並びにステークホルダー。会社構成員の株主も社会(ステークホルダー)からの統治対象となる。

. 会社法に関する考察

- 1.会社法概観
- 2.商法改正の変遷
- 3.商法大改正の求めるもの
- 4.経営実務上としての体系整理
- 5.CG の視点からの重要条文

. 内部統制に関する考察

- 1.内部統制の概観（会社法の内部統制：基本方針の取締役会決議義務、事業報告での決議内容開示、決議内容のフォローを次年度事業報告に反映せざるを得ない。）

（会社法以外の内部統制論：金融商品取引法、経済産業省モデル、

COSO フレームワーク = 内部統制の世界的フレームワークとなり、会社法など考え方の基盤、目的として、業務の有効性と効率性、財務情報の信頼性、関連法規の遵守）

- 2.内部統制の論議(主な内部統制フレームワーク)

.経営管理と内部統制

・マネジメントシステムとの関係

・中小企業での内部統制論（企業価値向上などメリットがある）

.経営士にとっての CG と内部統制

11 月度月例研修会

平成 18 年 11 月 18 日(土) 14:00 ~ 16:00

場 所 学校法人 秋葉学園

テーマ 「話し方の技術について」

講 師 (株)オフィス 45 副社長 上條真由美 氏

参加者 河井成夫、保科秀雄、藤江隆平、佐藤昭保、松永清美、大塚亜喜雄、大塚末五郎、北 賢治、
小塚彦明、林 久雄、若月英司、中嶋清介、西村豊、宇賀田登茂男、鶴岡義明、小島和久

- 1.参加者 6 名の 3 分間スピーチと講師による講評

(講師コメント)

- ・しっかりと立ってお辞儀すること(お辞儀だけで印象が決まる)
 - ・第一声、出だしをどうするかが重要
 - ・話に「見出し」をつけると良い
 - ・資料の配布は後のほうが良い。配ってしまうと話を聞いてもらえない。
 - ・笑顔がいい
 - ・ゼスチャーを取り入れるといい

- ・自分の言いたいことでなく出席者が聞きたいことを話す
- ・具体的に話す。黒板を使う。 ・間を取る、その時に聞き手と対話する。
- ・「・・・。」マルの多い話が聞きやすい(文章を短く切る)。

2.講義

- ・話の手順 挨拶 姓名を名乗る(の誰々と)(人柄まで分かってもらえるとよい)
内容(その日のテーマ) (最後に)もう一度名前を名乗る
しめの挨拶(・・・についてお話しました。有難うございました。)
- ・話全体の印象は、内容より表情・態度しぐさで55%、話し方で38%決まってしまう。内容はたった7%。態度は聞き手との関係によって変えていく。
- ・背筋を伸ばすと声も通る。聞いてくれる人、反応のある人を見て話す。
- ・聞き手の言葉で、聞き手が分かる言葉で話す。このために「質問」を使う。
- ・説得の基本ポイント 人間的印象、好かれる印象が良い。第一印象は、やり直せない。
説得する事柄への理解(物を売るときも本当に良いものと思っていなくては売れない)
話し手の熱意

M P P 研究会

平成 18 年 9 月 30 日(土) 15:00 ~ 16:30

場 所 習志野市大久保公民館

テーマ 「M P P の外部活用の事例」

講 師：上野延城 会員(埼玉)

参加者 河井成夫、若月英司、佐藤昭保、林 久雄、鈴木伸一、中嶋清介、塚本祐宿

1. M P P 開催の案内方法

外部参加者は、オブザーバーとして参加費は、無料とする。

見える化三原則 ・情報の共有化を図る ・共通認識をもつ ・一体行動を考える

2. 外部に対する P R 方法

P R 説明の際には、必ず三点セットを持っていく。

三点セット：・個人の知恵をチームの知恵に ・M P P は、思考のメソッド ・リーダー資格一覧表
団体との接触

a) まず個別企業に行くよりは、千葉県経営者協会、中小企業家同友会などの団体に説明に行ったほうが効果的である。

b) 説明は、外部指導資格をもったリーダーが参加する。

3. トライアル研修会のやり方

トライアルケースを外部に適用するには、最初に行ったほうが良い。

問題点 ・リーダーが少ない。 ・レコーダーが少ない。などの問題がある。

4. 外部活用の事例

団体、異業種の勉強会での開催事例

個別企業の幹部研修会としての事例

特に の事例として、理化学研究所の社長及び幹部社員に対する M P P の適用事例は、当会にとっては画期的なことがらではないかと思われる。講師の努力に感謝申し上げます。

コンサルティング研究会

第3回（9月）

平成 18 年 9 月 24 日(日) 3:30~16:30

場 所 船橋市海神公民館

テーマ 「中小企業経営者に対する経営改善説明会の資料作成」

講 師 近江堅一 会員

参加者 近江堅一、宇賀田登茂男、河井成夫、鶴岡義明、林 堯夫、保科秀雄、山田 一、若月英司

各自の指導テーマ、目標、指導内容の概要についての説明と講師によるアドバイス

第4回（11月）

平成 18 年 11 月 4 日(日) 13:30~18:00

場 所 船橋市海神公民館

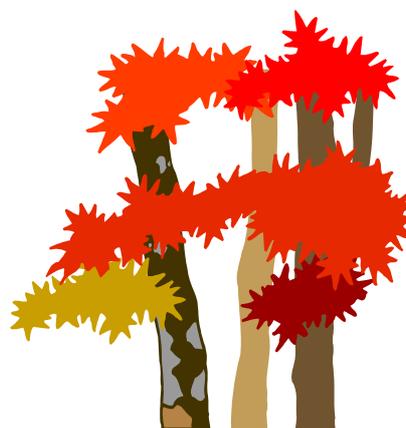
テーマ 「中小企業経営者に対する経営改善説明会の資料作成」

講 師 近江堅一 会員

参加者 近江堅一、川崎秀雄、宇賀田登茂男、河井成夫、林 堯夫、保科秀雄、大久保 篤、岩野邦久、
若月英司

各自の指導テーマ、目標、指導内容についての発表と講師によるアドバイス

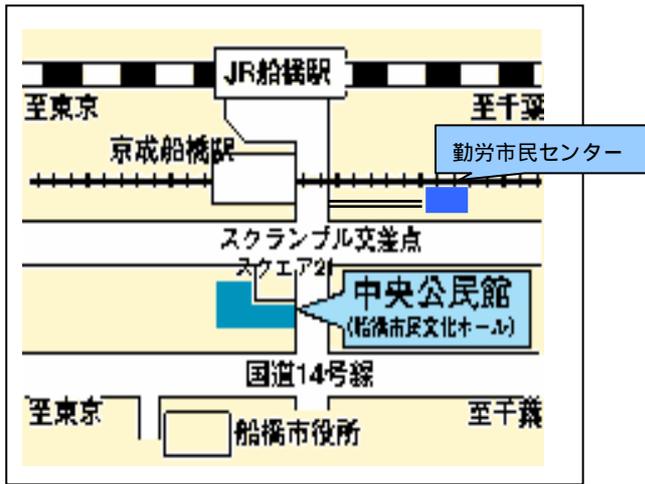
- ・企業価値を高める最大の原動力は「人」である（宇賀田登茂男）
- ・方針管理で画期的な経営改善を（河井成夫）
- ・多品種少量生産の儲かる仕組みづくり（林 堯夫）
- ・特殊支配同族会社の税制面から見た経営改善（保科秀雄）
- ・儲けるためのスループット会計の実践（大久保 篤）
- ・企業の儲けと運命はリーダーで決まる（岩野邦久）
- ・トヨタ方式を活用した生産性向上（若月英司）



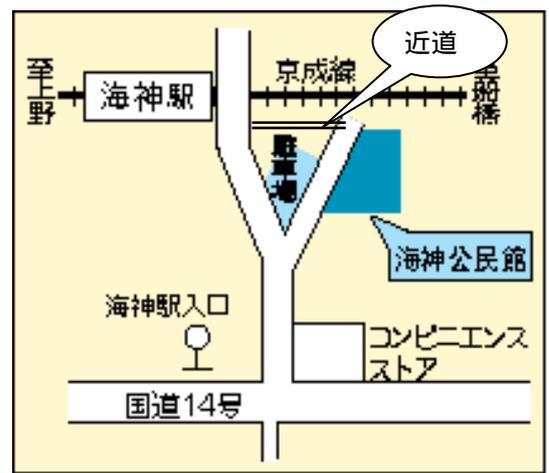
保存版・アクセスマップ

会場へのアクセスがわからないとの声をいただきましたので、主だった会場の地図を掲載いたします。ぜひ活用ください。

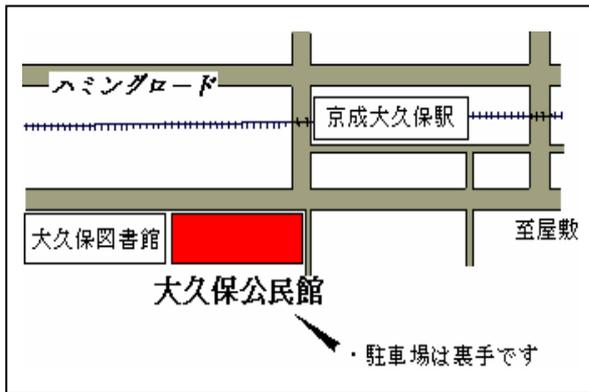
船橋市 中央公民館、勤労市民センター



船橋市 海神公民館



習志野市 大久保公民館



フローラ西船橋



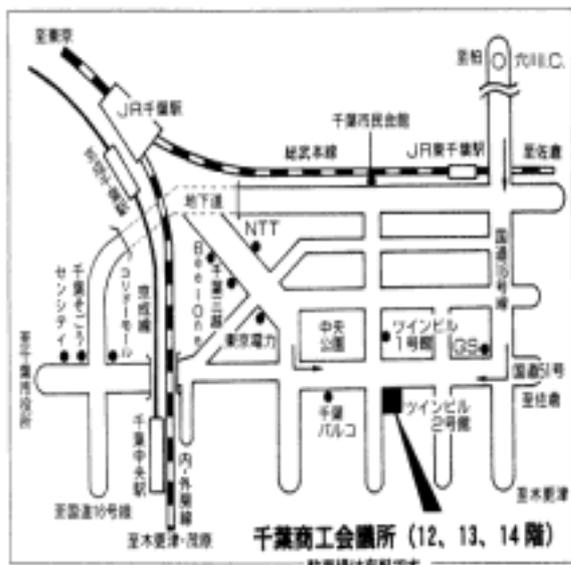
千葉市 千葉市民会館



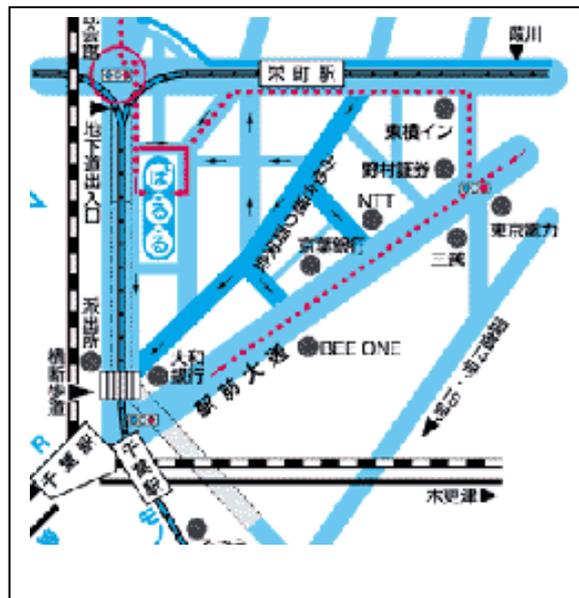
秋葉学園 (千葉情報経理専門学校)



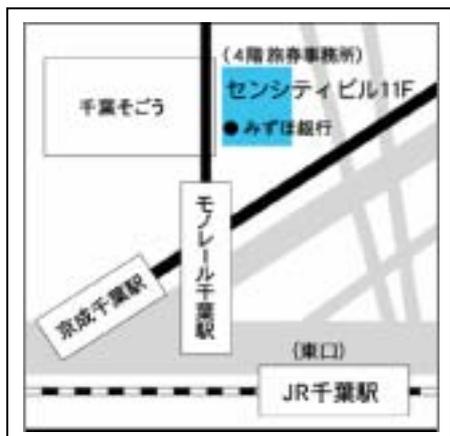
千葉商工会議所



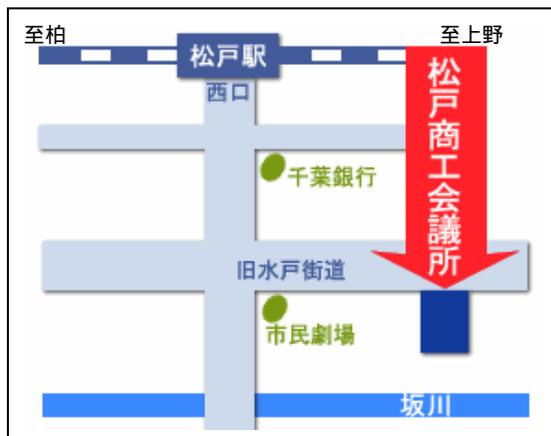
千葉市 ぱ・る・るプラザ千葉



パソナ 千葉支社



松戸商工会議所



柏商工会議所



連絡先	電話	F A X	電子メール
県会長 河井成夫	047-346-4441	047-346-4441	icb26004@nifty.com
月例研究会 鶴岡義明	047-473-0711	047-473-0711	tyms@beige.ocn.ne.jp
月例研修会 西村 豊	047-455-0900	047-455-0900	yuta.nsm@juno.ocn.ne.jp
同 小島和久	04-7175-1514	04-7175-1514	k-kojima@mtd.biglobe.ne.jp
ISO 研究会 若月英司	043-247-5078	043-247-5078	e.wakatsuki@mbm.nifty.com
M P P 研修 佐藤昭保	04-7159-3419	04-7159-3419	akiho4538@y7.dion.ne.jp
広 報 鈴木伸一	090-5446-2808	04-7133-1303	shin_suzuki@nifty.com

研修、研究会実施のお知らせ

月例研修会のご案内

1月度 2007年 新春特別講演会

日 時 平成19年1月13日(土) 15:00～18:00

場 所 フローラ西船橋(JR西船橋駅 南口 徒歩2分)

テーマ 「経営士会と私」

講 師 武居久弥 日本経営士会 常任理事(元ニチレイ専務)

懇親会も開催いたします。詳しくは最終面をご覧ください。

2月度

日 時 平成19年2月10日(土) 14:00～16:00

場 所 学校法人 秋葉学園(京成線 千葉中央駅 西口正面)

テーマ 「2007年問題」

講 師 大河内 国治 会員

団塊の世代が大量退職する2007年は、従来の日本企業の骨組みをも大きく変える問題になっている。長年コンサルタントとして企業と向き合ってきた講師が2007年問題をクローズアップします。ご期待ください。

3月度

日 時 平成19年3月10日(土) 時間未定

場 所 未定

テーマ 「人材活用におけるパソナとの業務提携の概要」

講 師 塚本 裕宥 会員(茨城県会)

経営士会とパソナの業務提携により、実際に登録し仕事に結びつけた講師の体験談をそっと教えます。

会場などの急な変更は県会ホームページにてお知らせしています。各研修会に出席する際は、ホームページをご確認の上ご来場ください。千葉県会ホームページ <http://www.keieishi-chiba.org/>

コンサルティング研究会のご案内

12月

日時 平成18年12月23日(土) 13:30～16:30

場所 船橋市 勤労市民センター

テーマ 「中小企業の経営改善」に関する説明資料の編集

講師 近江堅一会員

「中小企業の経営改善」に関する説明資料の編集会議を行います。

MPP 開催のご案内

1月

日時 平成19年1月20日(土)、21日(土)

場所 茨城県 花王霞ヶ浦研修所

テーマ 「ワンマン経営による業績不振企業の指導」、「不況にあえぐ業種の人事管理と後継者の育成」

前回好評だった花王霞ヶ浦研修所での宿泊 MPP 研修会です。テーマは2つ。いずれも実際の指導に役立つ内容となっております。参加をお待ちしております。

問合せ先 MPP 世話人 佐藤昭保 Tel/Fax : 04-7159-3419

北関東支部関連

いずれも、詳細は本部会報「MANAGEMENT CONSULTANT」で発表されますので、ご確認ください。

問合せ先 鶴岡義明 Tel/Fax : 047-473-0711

公開講演会

日 時 平成 19 年 2 月 9 日(金)

場 所 さいたま新都心 With You さいたま 男女共同参画推進センター 4F

テーマ 少子化高齢社会における地域貢献

行政と実務家との交流による課題解決

講 師 NPO 法人 わたらせライフサービス 理事長 宮地 由高 氏

東上線 NPO ネット 代表 柴田 郁夫 氏

NPO 法人 SCA 埼玉カウンセラー協会 会長 荒川 和夫 氏

他

団塊の世代の定年退職が始まり、高齢化とともに人口減少が昨年より始まった。大きな転換点を向かえた今日、高齢時代の地域活性化に向けた方向性を考える必要がある。

北関東支部 MPP 研修会（新潟県会）

日 時 平成 19 年 3 月 3 日(土)から 4 日(日)

場 所 越後湯沢

テーマ MPP 事業化における地域貢献

ケース作成と事業化に向けた戦略課題の解決



会員各位

社団法人日本経営士会千葉県会

2007 新春特別講演会のご案内

新春特別講演を本部常任理事 武居久弥 氏をお招きし、下記により開催することといたしました。

氏は元ニチレイ専務としての重責を担い、現在は経営士会本部で常任理事として活躍されております。今回は「経営士会」という視点で講演をいただきます。

なお、講演会終了後、講師を交え新春懇親会を予定しております。ぜひご参加ください。

記

日時 平成 18 年 1 月 13 日 (土) 15:00 ~ 18:00

場所 フローラ西船橋 047-435-2211

千葉県船橋市葛飾町 2 丁目 3 4 5

西船橋駅 南口 徒歩 2 分

演題 「経営士会と私」

講師 社団法人日本経営士会 常任理事 武居 久弥 氏

参加費 講演 1,000 円 懇親会 4,000 円

問合せ 副会長 (研修担当) 鶴岡 義明 047-473-0711

申込み 下記申込書により若月宛 FAX にてお申し込みください。



月例研修会 / 懇親会(12月)、新春講演会(1月) 出席連絡

(社)日本経営士会 千葉県会

総務担当 若月 英司 宛

Tel : 043 - 247 - 5078

会員氏名 _____

Fax : 043 - 247 - 5082 出席ご希望の方は 12月12日までにご連絡願います。

出席を次の通り連絡します。(該当欄に出席は○印、欠席は×印をご記入下さい。)

	研修会 / 講演会		懇親会
	テーマ1	テーマ2	
平成18年12月18日 出席 月例 / 懇親会			
平成19年1月13日 出席 新春講演会 / 懇親会	新春講演会		